

Super Express

夢ふくらむ

九州新幹線西九州ルートが着工！

イメージ図

昭和48年の整備計画決定から約35年を経て、平成20年3月26日に九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の建設工事の着工が認可されました。現在、約10年後の開業に向け、鉄道建設・運輸施設整備支援機構が建設工事を進めています。

大村市の将来を考えたとき、新幹線は定住・交流人口の拡大による活性化を図るうえで欠かすことができない重要な社会交通基盤です。

将来を担う次世代のためにも一日も早い開業が待ち望まれます。

九州新幹線西九州ルートの開業に向け、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ 新幹線推進室（内線158）

早期完成！

九州新幹線西九州ルート



西九州ルートとは

博多～長崎間を通る新幹線ルートです。

博多～新鳥栖間は新幹線鹿児島ルートとの線路を共用し、新鳥栖～武雄温泉間は在来線を活用、武雄温泉～諫早間は新幹線鉄道規格の線路を新たに建設し、諫早～長崎間は在来線（市布経由線）を活用して運行することになります。

フリーゲージトレインとは

西九州ルートは新幹線鉄道規格の線路と在来線の線路を使って運行するため、線路幅に応じて車輪幅を変える新幹線が必要です。それを可能にしたのがフリーゲージトレインです。

車輪の幅を変えることで、新幹線鉄道と在来線を直通運転でき、国内では初めて西九州ルートに導入される予定です。

なぜ西九州ルートが必要なのか

将来の大村市の発展のためには、人・物・情報の交流を拡大することが大切です。また企業誘致や観光振興のためには、高速交通手段の整備が必要です。

平成23年には鹿児島ルート全線が開通し、博多～鹿児島間が1時間20分で結ばれます。このままでは、人や物が九州の縦軸を中心に流れるようになり、地域間競争を勝ち抜くためには、西九州ルートの1日も早い開通が必要なのです。

新幹線の建設は国の計画によって進められるため、地元の要望だけで必ずしも建設されるものではありません。また、国の予算の約半分を占める既設新幹線譲渡収入が平成29年度上半期でなくなってしまうことから、今が絶好の機会なのです。

大村市の効果は

時間短縮

試算では、博多～長崎間が1時間19分に短縮されます。現在特急かもめの最速列車が1時間45分なので、短縮時間は26分です。

現在は市内から博多に出かける場合、諫早駅で乗り換えるため約1時間40分かかっていますが、乗り換えなしで1時間を切ることも可能となり、短縮時間は約40分です。

交流人口の拡大

たくさんの人たちが大村市を訪れ、また市民の皆さんが出かけやすくなるため、地域間交流が活発になります。経済活動や観光など人々の交流がまちに活気を与え、発展につながります。

これまでの福岡・山口のほか、鉄道移動に適するといわれる3～4時間圏内が広島・岡山などまで広がり、交流範囲の拡大が期待されます。

産業の振興

空港・高速道路と合わせて3つの高速交通拠点が揃い、企業誘致、観光振興など市の活性化につながります。

特に観光関連はすそ野が広い産業といわれており、食料品の製造業や飲食店などのサービス業、さらには土産品を販売する地元の商工業者にも大きな効果をもたらすなど、新たな雇用が生まれるきっかけとなります。

市の取り組みは

10年後、20年後、大人になった子どもたちがふるさと大村で働き、暮らしていくためには、地域の発展が必要不可欠です。そのために私たちができることや考えていかなければならないことはたくさんあります。まず、これに向けて「新幹線を活かしたまちづくり懇話会」から新幹線を活用した市勢発展の方策などの提言をいただきました。

市では提言を基に、「基本方針」および「基本構想」などを策定し、市民の皆さまのご意見などをお聞きしながら、今後も官民一体となって大村市のまちづくりに取り組んでまいります。

工事等の状況は

現在、建設主体である鉄道建設・運輸施設整備支援機構によって中心線測量が行われています。今後は、関係者との設計協議や用地測量説明を行い、用地取得完了後、工事に着手する予定です。

なお、鈴田トンネル工事は施工業者も決定し、約3年後の完成に向け工事が行われていきます。

ルート概要図



新幹線の建設費は

西九州ルートの「武雄温泉～諫早間」の建設には総額2,600億円のコストが必要です。

長崎県の実質的な負担は約300億円で、このうち大村市の実質負担額は、県の試算によると約8億700万円になります。建設期間の約10年間で負担した場合、市民1人あたり年間約900円の負担になります。

新大村駅(仮称)の位置は

高速道路と空港を抱える大村市は、両方へのアクセスを考え、長崎自動車道大村インターチェンジと長崎空港を結ぶ国道444号沿いにある県立ろう学校前で在来線に隣接する場所(植松3丁目)に、新大村駅(仮称)を建設することが決定されています。

